

公金横領犯 自首前写真

敬天新聞

ここをクリックで
拡大&カラー表示



敬天新聞 第127号
平成20年2月1日発行(月刊)

発行所 敬天新聞社
編集長 中野こうじ

〒335-0013
埼玉県戸田市喜沢1丁目28番地の43
TEL 048-229-0007
FAX 048-242-5858

定価 1部980円
年間購読料・個人1万円/法人3万円
振込口座・埼玉りそな銀行(武蔵浦和支店)
(普通)3659367 敬天新聞社
FAX情報誌「敬天千里眼情報」随時発行

敬天・国士啓蒙とは

人間は、如何に力を持つとしても、自然の摂理や配剤にはかなわない。常に学問をして天をおそれ敬つて、人を愛する心境に到達する事が必要なのです。

また、国家にとつて有能な人材を「国士」と言います。国士は敬天の思想から天敵を討つことを目標とし、あくまでも中庸を守り、国益と国民の権益を侵すものを徹底的に排除することを使命とします。

敬天新聞社
社主 白倉康夫

向って右側は懲役から帰ってきた人、左側はこれから行く人。別に記念写真を撮っている訳ではない。左の人が本日の主役で、戸田蕨川口三市身障福祉会の元会長で名を斉藤庄江と言い、蕨市身体障害者福祉会では現会長でもある。三年前から当紙植村記者がこの疑惑を追いかけていたが当時は否認。そのうち植村記者は戸田市から「煩い奴」として訴えられ御用、下獄。(斉藤氏としては、たまたま偶然にも、横領の唯一の追及者・植村がいなくなりホッと一安心。「戸田市サマサマだね」と横領を続行)

一月二十五日、三年ぶりに取材。本人を説得。一月二十八日に同伴して自首することを約束する。大手紙に先立ちパチリ。この斉藤氏、蕨市身体障害者福祉会の毎年の繰越金を平成十三年から退職する去年まで一〇〇〇万円、戸田蕨川口三市身障福祉会でも公的補助金や植村が追及していた戸田競艇場の売店や自動販売機からのあがりを入八〇〇万円以上、計一八〇〇万円は軽く使い込んで飲み食いしたと横領を認めた。

もう六十八歳の高齢なので刑務所での務め方などを伝授した後での…やっぱり記念写真。ヨオツ、ムシヨ仲間。お巡りさん、自首ということでお手柔らかにお願いします。

しかしこれ、植村を無理やり逮捕しなければ三年前に片が付いていた話。斉藤氏が去年・一昨年と横領を繰り返して公金が消え去った事に対し、戸田市長一派の責任は重い

本紙ご購読料振込のお願い
本紙は皆様の購読料を原資に国士啓蒙運動を展開しております。「国賊は討つ」のスローガンのもと、新聞紙上・ウェブと街頭抗議活動で悪党を叩き続けております。今後とも永く読者の皆さまに愛され、糾弾対象からは恐れられる新聞社でありたいと思っております。

本紙ご購読料の振込に、ご協力をお願い申し上げます。
※年間購読料 個人 二萬四 法人 二萬四
敬天新聞社

website <http://www.keiten.net>

政・官・財界の不正疑惑、悪徳企業にまつわる情報提供→disclosure@keiten.netまでご連絡下さい。